

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立支援放課後等デイサービス こどもらんど第3教室			
○保護者評価実施期間	令和8年2月17日		～	令和8年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和8年2月17日		～	令和8年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども1人1人の特性やその日の様子を大切にしながら支援を行っている。学校生活での疲れや気持ちの揺れにも配慮し、安心して過ごせる居場所作りを心掛けている。	活動前に見通しを伝える・気持ちの切り替えがしやすいよう環境を整える等、子どもが落ち着いて参加できるよう工夫している。また、できたことや努力した過程を大切に声掛けを意識している。	今後も職員間で情報共有を丁寧に行い、支援方法の見直しを重ねながら、より安定した支援体制を整えていく。
2	小集団での活動を通して、順番を守ることや相手の気持ちを考えること等、社会性を育む機会を大切にしている。	ボードゲームや運動遊び、製作活動等の中で、ルールを守ることや適切な言葉で伝えることをその都度確認している。トラブルがあった時には、その場で振り返りを行い、どうすれば良かったかを一緒に考えている。	それぞれの活動に目的をもたせ(指導案:支援手順書の作成)、個別支援計画とつながるよう職員間で共有しながらより計画的な支援へと繋げていく。
3	連絡帳や送迎時の対話を通して、日々の様子を丁寧に共有し、支援の方向性を合わせることを心がけている。	日々の様子や取り組んでいる過程を具体的に伝えることを意識し、保護者が安心して相談できる雰囲気作りに努めている。	今後も保護者の声に耳を傾けながら、必要に応じて支援内容の見直しを行い、よりよい連携体制を築いていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の経験や知識に差があるため、支援の質をさらに高めていく必要があると考えている。	職員個々の経験年数や知識量に差があり、習得した専門的な知識を実際の支援現場で実践に結びつけることが難しい状況にある。	内部研修や事例共有の機会を増やし、支援方法の共通理解を深めることで、職員全体のスキル向上を図っていく。
2	活動内容が安定している一方で、新しい体験の機会をさらに広げていく余地がある。	安全面や時間的な制約から、活動の幅が限定的になりやすいことが背景にある。	季節行事や地域資源の活用を検討し、無理のない範囲で活動の幅を広げていく。
3	記録や事務作業に時間を要することがあり、業務負担の整理が課題である。	役割分担や業務の進め方について、改善の余地があると考えている。	業務の見直し効率化を図り、支援により多くの時間を当てられる体制づくりを進めていく。